



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月28日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7299 URL <http://www.oozx.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 辻本 敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 藤川 伸二 (TEL) (0537)35-5873  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,826	△30.4	△928	—	△923	—	△730	—
2020年3月期第2四半期	11,237	0.5	349	△20.1	373	△9.7	294	10.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △858百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 169百万円(△68.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△355.23	—
2020年3月期第2四半期	143.07	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,823	24,783	66.7
2020年3月期	37,240	25,744	66.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 23,885百万円 2020年3月期 24,820百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	50.00	110.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定です。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△21.0	△320	—	△320	—	△270	—	△131.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,055,950株	2020年3月期	2,055,950株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,977株	2020年3月期	1,977株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	2,053,973株	2020年3月期2Q	2,054,005株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止に向けた緊急事態宣言により企業活動に大きな影響を及ぼしましたが、5月の緊急事態宣言解除以降、依然感染症リスクによる不透明さは残るものの、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症は、米国では感染者の拡大が続いているなど依然終息は見えていない一方で、経済活動の再開により、景気は緩やかな回復の基調を見せております。中国ではほぼ感染症は制御されており、政府主導による経済促進策に後押しされ景気は引き続き回復傾向で推移しています。

しかしながら、世界全体では、感染症拡大の影響による経済の落ち込みは大きく、再流行も懸念されるなど今後も不透明な厳しい状況が続くことが予想されます。

当社グループが属する自動車業界の国内新車販売は回復基調ではあるものの、新型コロナウイルス感染症影響が大きく、前年同期を下回る販売となりました。また、米国は9月販売が前年プラスに転じたものの、北米全体の第2四半期累計では前年同期を下回る販売となりました。一方で中国は景気が回復傾向で推移する中、4月以降は前年同期を上回る販売を維持しています。

このような市場環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、米国や欧州顧客を中心に販売不振による受注の落ち込みが続いたため前年同期に比較し、海外販売は20.1%の減少となりました。国内販売につきましても、受注の落ち込みから前年同期に比較し34.6%の減少となり、国内外を合わせると30.4%の販売減となりました。

利益につきましては、販売が大幅に落ち込むなか、固定費の徹底圧縮による原価低減活動、より無駄のない生産体制への見直し、雇用継続のための雇用調整助成金の活用など利益確保を目指した対策を継続的に取り組んでまいりましたが、販売減少の影響は大きく損失計上となりました。

以上の結果、売上高は7,826百万円（前年同期比3,411百万円減）、営業損失は928百万円（前年同期は営業利益349百万円）、経常損失は923百万円（前年同期は経常利益373百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は730百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益294百万円）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,418百万円減少し35,823百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は現金及び預金が1,651百万円、減少の主な内訳は受取手形及び売掛金が1,289百万円、有形固定資産が1,114百万円であります。

現金及び預金は、新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の変化に対応するため、資金のさらなる手元流動性を確保すべく、金融機関借入による資金調達を行っていることから増加しております。

受取手形及び売掛金は、新型コロナウイルス感染症拡大による販売の減少に伴い減少しております。

有形固定資産は、減価償却等により減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ457百万円減少し11,039百万円となりました。負債の増加の主な内訳は短期借入金が1,563百万円、減少の主な内訳は支払手形及び買掛金が1,241百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が275百万円であります。

短期借入金は、前述の金融機関借入により増加しております。

支払手形及び買掛金は、販売の減少に伴い生産を調整し、仕入を抑制していることから、減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ960百万円減少し24,783百万円となりました。純資産の減少の主な内訳は、利益剰余金の減少832百万円であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」と言う。）は、前連結会計年度末に比べ1,660百万円増加し、4,770百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は910百万円（前年同期比25.4%減）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費1,164百万円、売上債権の減少額1,266百万円、たな卸資産の減少額682百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失923百万円、仕入債務の減少額1,221百万円であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は448百万円（前年同期比82.8%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出448百万円であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は1,215百万円（前年同期比9.4%減）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増減額1,585百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年7月27日に公表した連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年3月期の期末配当予想につきましては、引き続き未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,097,998	4,748,592
受取手形及び売掛金	5,202,973	3,914,071
商品及び製品	2,375,606	1,909,138
仕掛品	1,565,837	1,446,696
原材料及び貯蔵品	1,976,892	1,850,926
その他	367,561	230,688
貸倒引当金	△9,000	△6,000
流動資産合計	14,577,867	14,094,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,898,693	4,739,870
機械装置及び運搬具（純額）	11,885,571	12,306,365
土地	3,204,827	3,193,886
その他（純額）	1,910,628	545,235
有形固定資産合計	21,899,719	20,785,357
無形固定資産		
その他	126,524	105,881
無形固定資産合計	126,524	105,881
投資その他の資産		
その他	666,363	867,559
貸倒引当金	△30,250	△30,350
投資その他の資産合計	636,113	837,209
固定資産合計	22,662,357	21,728,447
資産合計	37,240,224	35,822,557
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,141,795	1,901,244
短期借入金	4,742,941	6,305,478
1年内返済予定の長期借入金	528,650	523,220
未払法人税等	152,785	71,814
賞与引当金	101,064	80,579
役員賞与引当金	22,500	—
その他	1,033,837	655,576
流動負債合計	9,723,571	9,537,911
固定負債		
長期借入金	1,401,894	1,132,818
役員退職慰労引当金	2,606	3,231
退職給付に係る負債	137,056	138,777
その他	231,496	226,424
固定負債合計	1,773,051	1,501,249
負債合計	11,496,622	11,039,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,800,499	2,800,499
利益剰余金	19,417,832	18,585,498
自己株式	△9,579	△9,579
株主資本合計	25,227,399	24,395,065
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△244,630	△359,686
退職給付に係る調整累計額	△163,191	△150,175
その他の包括利益累計額合計	△407,821	△509,861
非支配株主持分	924,023	898,194
純資産合計	25,743,601	24,783,398
負債純資産合計	37,240,224	35,822,557

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,236,590	7,825,975
売上原価	9,354,440	7,563,790
売上総利益	1,882,150	262,185
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	430,219	434,753
荷造運搬費	378,291	161,204
役員賞与引当金繰入額	10,350	—
賞与引当金繰入額	5,971	8,157
退職給付費用	37,995	39,883
その他	670,496	546,115
販売費及び一般管理費合計	1,533,321	1,190,113
営業利益又は営業損失(△)	348,829	△927,928
営業外収益		
受取利息	2,958	4,340
受取配当金	310	310
受取賃貸料	16,934	9,471
雇用調整助成金	—	244,049
受取補償金	27,930	—
その他	26,480	20,206
営業外収益合計	74,613	278,377
営業外費用		
支払利息	34,503	43,851
固定資産除却損	166	73,456
為替差損	3,699	153,651
賃貸収入原価	727	727
その他	11,536	1,854
営業外費用合計	50,631	273,539
経常利益又は経常損失(△)	372,810	△923,091
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	372,810	△923,091
法人税、住民税及び事業税	162,832	28,567
法人税等調整額	△80,081	△199,245
法人税等合計	82,752	△170,678
四半期純利益又は四半期純損失(△)	290,059	△752,412
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,817	△22,777
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	293,876	△729,635



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	290,059	△752,412
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	680	—
為替換算調整勘定	△128,712	△118,207
退職給付に係る調整額	6,989	13,115
その他の包括利益合計	△121,043	△105,092
四半期包括利益	169,015	△857,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,980	△831,675
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,964	△25,830

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	372,810	△923,091
減価償却費	1,019,545	1,164,070
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△900	△2,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,991	△19,687
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,550	△22,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,417	21,214
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	338	625
受取利息及び受取配当金	△3,268	△4,650
支払利息	34,503	43,851
有形固定資産処分損益(△は益)	△584	73,534
雇用調整助成金	—	△244,049
受取補償金	△27,930	—
売上債権の増減額(△は増加)	793,923	1,266,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	△645,185	682,016
仕入債務の増減額(△は減少)	77,047	△1,221,373
その他	△356,136	35,278
小計	1,246,040	848,536
利息及び配当金の受取額	3,269	4,655
利息の支払額	△33,775	△41,730
雇用調整助成金の受取額	—	173,043
補償金の受取額	27,930	—
法人税等の還付額	122,078	29,800
法人税等の支払額	△148,449	△104,758
保険金の受取額	2,633	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,219,725	909,546
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,585,398	△447,821
有形固定資産の売却による収入	830	570
無形固定資産の取得による支出	△12,932	△3,241
その他	△4,077	2,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,601,577	△448,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,471,184	1,584,868
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△207,750	△261,610
配当金の支払額	△123,240	△102,699
その他	1,382	△5,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,576	1,215,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,261	△16,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,537	1,659,757
現金及び現金同等物の期首残高	3,256,601	3,110,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,195,064	4,769,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少は、当連結会計年度中は続くことを想定しておりますが、下期は改善傾向であり、翌連結会計年度もその傾向が続き通年ではほぼ正常化するとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束が遅延し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。